

相生 デイ サイビス 新聞

発行所
相生DS
44-4165



今にも雪の降りそうな
低く灰色の雲があわただしくなった
師走の街に流れてきました。
今にも雪の降りそうな
行き交う人が襟をたて家路に急いで
いました。

冬の味覚



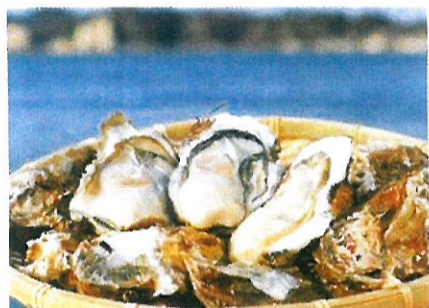
主にかに漁



水深
200~400m



水深
800~1500m
かごを投げ入れて
2,3日後に回収



牡蠣もおいしく
なりました。

名句
雪はげし
抱かれて息のつまりしこと

橋本多佳子



谷内六郎『似合』一九七〇年

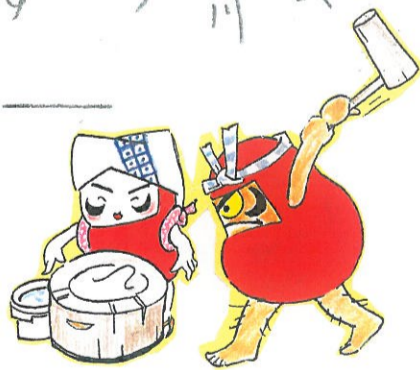
— 今月の予定 —

床屋さん
4(月)
13(水)
21(木)
26(火)

- 2(土) 民謡とハーモニカ
- 5(火) ラウレア・アラ
- 6(水) 藤美会
- 12(火) 春さんと仲間たち
- 14(木) リんごの会
- 15(金) シャロームバンド
- 20(水) よさこいポパイ
- 21(木) 小林音楽
- 23(土) クリスマス会
- 25(月) レストランテ江川
- ※おやつ作り
- ゆず湯
始まります

季節の言葉
お正月の
神さまを
あかえる為
屋内を清め
ること
12月13日
行なう。

いろいろな歌
い山脈
い花びら
い靴
い花の咲く頃
色のワルツ
いさくらんぼ
人生



27(水)
もちつき
さあ、力強く
「よいしょ」

ユーモアくらぶ
男は飲むと泣いた。
泣き上戸である。
「いつも泣きたくなる
のか」
友だちがきいた。
「いやあ、おごって
もらった時は別々」

天声珍語
旅と恋は似て
いる。
始まりはいつ
だったか
心ときめく
いくらかの
期待と
なにがしかの
想像で
妙に落ち着か
ぬものだ。
恋はずでに
遠く枯れて
今は、
放だけが心を
動かす。
雪の無人駅で
降りる。
人の動めく
都会の駅に降
りる。
静寂のなかに
喧噪のなかに
そんな旅も
終って……
「あ、
やっぱり似て
いるな
終りはいつだっ
てさみしく
未練が残る。」
ススム